

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ふあんふあん		2026 年 1 月 20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		適切である。スペース確保出来るように取り組む	面談時や広報誌に部屋の様子など見て頂いたり周知していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		配置数は適切に配置している	一日の職員配置については基準を厳守
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		バリアフリーではないけれど子どもたちが自ら行動できる環境になっている	利用している児童にとって過ごしやすい空間作りを目指していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清潔に保てるようにしている	利用している児童にとって過ごしやすい空間作りを目指していきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		部屋を分けたり一人一人に配慮した環境になるようにしている	感染対策にのっとして掃除消毒換気を継続して行っていく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		参画出来るようにしている。	具体的に計画を立てていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		繋げられるように努力する。	意見を考慮して業務改善をしていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		繋げている。問題が起こった時には職員が把握して改善できる点を話し合いをする	意見を考慮して業務改善をしていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	外部委託など協議していく	今後検討していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修会には積極的に参加をするなど研修を続けている	更なる研修機会を増やしていけるようにしていく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		公表している	個別の細かい計画を立てていく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者の意見を中心に個別支援計画を立てることが出来る	個々にあった支援内容にしてニーズを考慮するようにする
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		スタッフと一緒に考えることが出来る	個々に対応してより良い支援が出来るようにしていく
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		されている	個々に対応してより良い支援が出来るようにしていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			日々の活動などを考慮してアセスメントを作り対応している
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			日々の活動などを考慮してアセスメントを作り対応している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		スタッフと一緒に考えることが出来る	会議などで立案している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			毎月会議などで計画している

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			日々の活動などを考慮してアセスメントを作り対応している
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			毎日ミーティングをして情報共有をしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		共有している	毎日ミーティングをして情報共有をしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			毎日記録をしてスタッフ間で共有している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		保護者とも話をして見直しをしている	日々の活動などを考慮してアセスメントを作り対応している
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			日々の活動などを考慮してアセスメントを作り対応している
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		子どもの気持ちに寄り添って自分で判断出来るようにしている	自分発信が出来るように支援している
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		参加している	適宜参加するようにしている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			今後検討していきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		適切に行っているがすべてではない	学校との共有は難しいが共有出来るようにしていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		保育所に見学に行くなど理解している	関係機関との共有は難しいが共有出来るようにしていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		関係機関との共有は難しいが共有出来るようにしていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			今後検討していきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		交流は出来ていない	今後検討していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		今はしていない	今後検討していきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時などに伝えるように努めている	適宜共有するようにしている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	今はしていない	ペアレントトレーニングという形では取れないが同じような形でアドバイスや一緒に考えてる
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		面談時に説明はしている	面談時などにおいて適切に説明している
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談時に話し合いをして決めている	面談時などにおいて適切に説明している
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		面談時に説明はしている	面談時などにおいて適切に説明している
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		面談時に説明はしている	随時相談の受け入れるようにしていきます

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4	今はしていない	今後実施出来るように考えていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		何かあれば適宜情報を伝えている	保護者からの苦情に対してはあった段階で迅速に対応して各保護者に情報提供している
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		Instagramに活動内容を挙げているとともに通信を毎月配布している	これからも積極的に情報発信をしていきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			会議などにおいて個人情報の取り扱いなどの意識の向上を図っていく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			個々に対応していきます
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		今後検討していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		年一回必ずしている	充実した訓練をしていきたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		年一回必ずしている	色々な事を想定して訓練をしていきたい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		適宜確認している	個々に対応している
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		対応している	アレルギーのある児童入るので配慮している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		対応している	職場内で研修をして支援出来るようにしている
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		面談時に説明はしている	面談時などにおいて適切に説明している
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		何かあれば適宜対応している	危機管理研修を行いその中で活用できる体制に持っていく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		対応している	職場内研修や外部研修を行っていけるようになっていく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		面談時に話し合いをして決めている	必要に応じて対応はしている。